

■特集 メーデー100年 組合員とご家族、OB・OG、職場の仲間 みんなで次代につなげよう

メーデーの起源 5月1日のメーデー(May Day)は、古くからヨーロッパでは「夏の訪れを祝う日」とされ祝日とされてきました。

一方で、低賃金と長時間労働に苦しめられていた米国の労働者がゼネラルストライキ(全国的な規模で行われる労働争議)を行ったのが1886年の5月1日で、彼らは翌年以降も5月1日にゼネストを実施しました。この動きが世界の労働組合に広まり、1890年5月1日に「第1回国際メーデー」が多くの国で開催されました。これが今に続く「労働者の祭典」としてのメーデーの起源となったのです。

日本では1920年5月2日に「第1回メーデー」が東京・上野公園で開催されました。第二次世界大戦中は政府により開催が禁止されましたが、戦後、労働組合の活動再開とともに再び開かれるようになり、日本の労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしてきました。現在のメーデーは、米国の労働者が労働条件の改善を訴えたその想いを受け継ぎつつ、働く仲間とお互いをねぎらい、たたえ合いながら、家族や地域のみなさんにも楽しんでもらえる一大イベントとして世界中で愛されています。

**連合鳥取
メーデーの歴史
1990年2月9日
連合鳥取結成**

■ 第61回鳥取県メーデー大会を県内3地域4会場で開催(1990年5月1日) ■

○連合鳥取・県総評センター・県友委会議で実行委員会を結成⇒1996年より「連合鳥取のみ」で大会を運営

○1998年大会までは「境港市」を含む4会場で開催



第61回中央大会(1990年)



第63回中央大会(1992年)



第65回中央大会(1994年)

■ 第70回鳥取県メーデー大会(1999年5月1日) ■ “第70回”と“連合鳥取10周年”を記念して 県内1カ所(鳥取県民体育館)を会場として、 全県より7000人が集結してメーデー大会を開催

- ①MALTA&フェリーシア、鳥取城北高校・鳥取女子高校とのジョイントコンサート
- ②米子方面からの臨時列車(メーデー列車)の運行 など



メーデー列車
ヘッドマーク

■ 「中央大会」を県内3地域を 持ち回りで開催に変更 ■ 「第71回大会(2000年)」より



フラカード
コンクールを
毎年実施

各地協賛
イベントを工夫

■ 「連合鳥取の政策」「連合政策」PR活動 ■

- ・「中海・本庄工区全面干拓に反対する特別決議」(1996年・1997年)
- ・トブ太(自立支援)カンパ(2009年派遣切り)
- ・安倍政権への抗議はがき(2015年/西部)(写真左下)
- ・「クラシソコアゲ第2弾」アンケート(2017年)など(写真右下)



■ 「メーデー川柳」を募集 ■

「第79回大会(2008年)」から
スローガンをテーマに募集…
毎年多くの応募あり

■ 被災地支援・復興活動 ■

東日本大震災(2011年)、熊本地震・鳥取県中部地震(2016年)などの災害被災地の支援と復興に向け、メーデー大会の中で復興に向けた支援カンパや物販を実施



参加者全員で
黙とう(2011年)



(2016年)

■ 社会貢献活動 ■

「メーデー献血」「使用済み割箸・エコキャップ回収」「フードドライブ」を実施



ご協力ありがとうございます!

第91回メーデー中央大会(東京)

4月29日(水・祝) 10:30より
メッセージ配信中

1. パソコン
連合ホームページ
「第91回メーデー大会」バナーから
2. スマホ・タブレット
QRコードから
QRコードはスマホ用になります

視聴方法

